



難民映画祭

REFUGEE FILM FESTIVAL



世界を想う。

平和を問う。

オンライン開催

2025.11.6 [木]
-12.7 [日]

劇場開催

11.6 [木]

TOHOシネマズ 六本木ヒルズ(東京)

11.13 [木]

TOHOシネマズ なんば(大阪)

12.2 [火] - **12.3** [水]

イタリア文化会館(東京)

寄付つき鑑賞
または 無料鑑賞



詳細・申込

主催



難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

協力



UNHCR
The UN Refugee Agency

パートナー



後援



一般財団法人
自治体国際化協会

特別協賛

Canon

MIYOSHI

ユニクロ

協賛

Ambec

SONY

TOHO

TOHO GEMES

TOHO MARUYING

JVTA
日本国際化協会

富士フイルム

Live Board

字幕制作協力

日本映像翻訳アカデミー株式会社

プロジェクト協力

イタリア文化会館、オクノテ、Peatix Japan株式会社、株式会社フェイス

(五十音順)

日本初公開 6 作品を含む珠玉の 9 作品を上映

全作品に日本語・英語の字幕あり



©Courtesy of Native Voice Films

ハルツーム

命をかけて戦火を逃れた5人が語るスーダンの記憶
原題: Khartoum
ドキュメンタリー / 80分 / 2025年



©Punkchart Films

見えない空の下で

ウクライナの地下鉄構内で暮らす2人に芽生えた友情
原題: Photophobia
ドキュメンタリー / 71分 / 2023年



©Courtesy of Del Playa Films

アナザー・ブレイス

ヨーロッパへ逃れた4人の若者が問う本当の「居場所」
原題: Another Place
ドキュメンタリー / 80分 / 2024年



©Babel Doc

希望と不安のはざま

独裁の終焉を迎えたシリアで人々は何を思うのか
原題: Syria: Between Hope and Fear
ドキュメンタリー / 52分 / 2024年



©Julien Panie

バーバリアン狂騒曲

難民が村にやってきた！笑い和本音が交差する大騒動
原題: Les Barbares
コメディドラマ / 101分 / 2024年



©Babel Doc

あの海を越えて

47人の命を救った8人の友人とかつて救われた命
原題: L'ultima isola
ドキュメンタリー / 74分 / 2024年



ラジオ・ダダーブ

ケニアの難民キャンプから世界へ！気候変動の危機
原題: Radio Dadaab
ドキュメンタリー / 25分 / 2023年



©Kraken Films

カブール・ビューティー

タリバン政権下を生きる親友2人に迫る人生の選択
原題: Kabul Beauty
ドキュメンタリー / 52分 / 2023年



2026年1月劇場公開
特別先行上映

ほくの名はラワン

孤独だったろう者の少年が生きる意味を問う
原題: NAME ME LAWAND
ドキュメンタリー / 90分 / 2022年



10.7 [火] から申込受付開始！

詳細・申込

難民映画祭公式サイトでの申込ボタンを押し、Peatixにてチケットをお申込ください。

お申込時に (A) 寄付つき鑑賞 か (B) 無料鑑賞を選択いただけます。

将来を担う若年層の方たちが参加しやすいように、無料鑑賞を設けています。

また、映画祭期間中、映画の背景にある難民問題や社会について学べるオンラインセミナーも開催。

詳細は右の二次元コードをスマートフォンで読み取るか、「難民映画祭」で検索！



難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会 〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター 3階 03-4366-7373

ご寄付のお申込み・資料請求・お問い合わせはこちらから

ゴシエン ナンミンニ
0120-540-732

通話料無料
(平日10時～19時)